

令和6年度

学校評価(自己評価・学校関係者評価)

赤穂市立有年中学校

1 本年度の学校経営方針

◆学校教育目標 「志高く、学ぶ意欲と思いやりの心が充ちる生徒の育成」
～夢の実現に、明るく、やさしく、誠実さをもって歩み続ける～

◆基本方針
(1) 「笑顔」・「あいさつ」・「やさしさ」があふれる生徒の育成に努める
(2) 仲間と協同し、考えを深める学びを構築し、向上心と豊かな人間性を養う
(3) 夢と志を持ち、よりよい生き方を求めて「挑戦する勇氣」と「行動力」を培う
(4) 有年中学校生徒であることを誇りとし、郷土を愛する心を育む、魅力ある学校づくりに努める

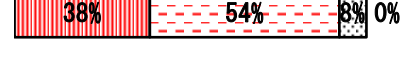
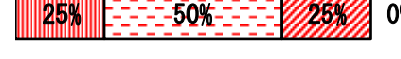
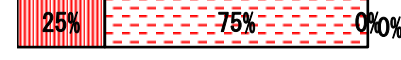
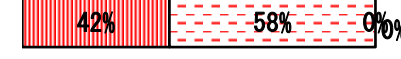
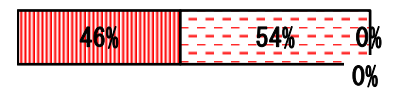
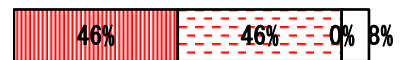
2 本年度の学校努力目標

(1) 【豊かな心】の育成 ～人権感覚・人権意識を基盤とした学校文化を創造する～
(2) 【確かな学力】の育成 ～学ぶ意欲、思考力を育てる授業づくりを推進する～
(3) 【すこやかな体(心身)】を培う
(4) 【自主自律の精神】の育成 ～真心を持ち物事に誠実に取り組む、主体的な生徒を育成する～
(5) 特別支援教育の充実
(6) 魅力ある学校づくり、地域に信頼される学校づくりを進める

3 自己評価結果(A～D) A:達成した B:ほぼ達成した C:あまり達成できなかった D:達成できなかった

学校努力目標

NO	評価項目	A	B	C	D
1	災害が起きた時を想定し、避難方法を具体的に話しをしている。	4	6	2	1
		31%	46%	15%	8%
2	生徒が安心して生活できる居場所づくりを進めている。	6	6	0	1
		46%	46%	0%	8%
3	生徒の気持ちに寄り添いながら話を聴くことを大事にしている。	8	5	0	0
		62%	38%	0%	0%
4	生徒がいじめや暴力のない学校生活を送れるように取り組んでいる。	6	7	0	0
		46%	54%	0%	0%
5	生徒にわかりやすい授業ができるよう工夫している。	4	8	0	0
		33%	67%	0%	0%
6	授業の改善のため工夫を続けている。	5	7	0	0
		42%	58%	0%	0%
7	生徒の発言を大切にし、質問しやすい授業を心がけている。	3	9	0	0
		25%	75%	0%	0%
8	生徒の話しをよく聞いて、考え方や意見を認めてから指導することを心がけている。	6	7	0	0
		46%	54%	0%	0%
9	進路について考える機会を提供している。	3	6	3	0
		25%	50%	25%	0%
10	思いやりの心や命を大切にする学習を機会あるごとにしている。	5	7	1	0
		38%	54%	8%	0%



総合的な学校関係者評価

○生徒・保護者アンケート、また先生方の自己評価における特記事項を見て、先生方の努力の成果であると思いました。まずは先生方が健康第一であってほしいです。
○少人数をいかした経験や、地域への発信を丁寧に頂き、ありがとうございます。
○明るい笑顔での挨拶に接するたびに、豊かな気持ちになります。日頃の学校での御指導の成果と先生方の御尽力に頭が下がります。少ない人数で学校での活動に加え、地域での行事への参加要請など、正直な所、負担の大きさを心配することもあります。無理のない範囲で「やりがい」ととらえて頂ければ願います。学校での努力に対し地域はどれだけその程度を理解しサポート出来ているのか、地域に住む我々は今後こうした点を考慮し、実際にできることを活動という形で示さなければいけないと反省する次第です。学校を支えようという気風は十分にある地区でありますので、具体的に実践出来ることから始めなければならないと考えます。
○学校での生徒の過ごし方は、「自分の居場所」があるかどうかであると思う。授業のこと、生徒間での事など、悩みがあって解消出来ない場合、孤立してしまうものである。大人(先生方)にとっては、とりとめのない事で悩むことは、特にこの年令ではよくあることだと思います。小さな事で解消出来れば、気持ちも落ちつき「自分の居場所」が出来ると考えます。拡い心を持つ為に、自分はこの宇宙の中の1人であり、狭いクラスの中で悩むときは何てことない。世間は、世界はもっと広いんだと教え、やりたい事に向かって頑張れと指導して下さい。
○少人数の学校生活で、生徒も先生もいろいろな制限があるかと思いますが、工夫して行事等行えているように思えます。少人数だからこそ、ひとりひとりの個性を出しやすい環境であると思うので、楽しく、のびのび、自分らしく学校生活を送って欲しいです。
○有年中学校は少人数のため集団の中で自分を主張したり、社会性やコミュニケーション能力が身に付きにくいといった意見もあるが、先生方や保護者の皆さん、地域の方々との関わりを通じて、生徒達は人間力が養われていると感じます。これからも社会で自立していくための基礎づくりをお願いします。
○学校行事については、生徒全員で楽しい催しを考え、先生方も熱心に指導している。また、自然に恵まれていて、いじめも無く、とても過ごしやすい環境にあり、良い中学校だと思っています。
○今までの有年中学校の良さを残しながらも少人数の良さをいかしていける学校作りをしていただければと思います。地域の方々にももっとかかわってもらえるような行事等、増やしていけるといいのではないのでしょうか。
○少人数の特色を活かした学校づくりだと思います。学校統廃合の事もあるので、強みをしっかりと活かして下さい。

学校関係者評価

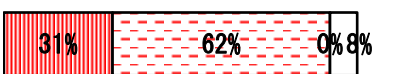
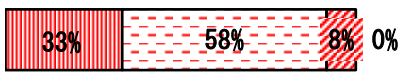
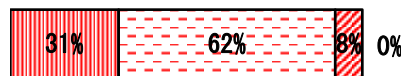
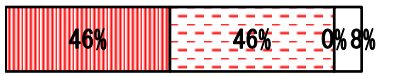
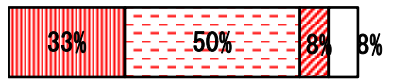
◎適切である ○ほぼ適切である △あまり適切でない ×適切でない

分析と改善の方策	自己評価は適切か	改善方策は適切か	課題と来年度の具体的改善方法
(1) 【豊かな心】の育成 ～人権感覚・人権意識を基盤とした学校文化を創造する～ 【成果】 - 生徒の気持ちに寄り添いながら話を聴くことを大事にしているため、教師に相談しやすいと感じている。 【課題】 - 友だちに相談しにくい生徒がいる。 【改善の方策】 - 人間関係の心配があると思うので、日頃から様子を見たり話を聞く機会を持つていく。	◎	◎	○子供たちがもっと話しやすい環境作りが大事だと思う。 ○少人数での人間関係のむづかしさもあると思うので、1対1で話を聞いてもらう機会が定期的にあるといいと思います。 ○穏やかな雰囲気の中で学校生活を送ることが出来ており、その成果が生徒と教師の間での信頼関係の構築につながっていると感じる。 ○近い頃からのある種、固定化された関係の中で生活していると思われる。多感な中学生という時期に、今までの関係が深化あるいは変化することもあり、そのことで今までの人間関係を見直すことも起こる。そうしたことを踏まえ(配慮した上での)対応が求められてくると思われる。 ○あと回しにするのではなく、気が付いた時にすぐ対応することが大事です。 ○命の大切さや人権についての学習をする機会をもう少し増やして欲しい。 ○アンケートの結果からもわかるように、生徒は先生のことを信頼していると思います。先生と生徒との距離が近いことは、少人数である有年中の強みでもあり、保護者の方も安心できると思います。 ○少人数とはいえ学校が居心地の良い場所と感じていない生徒がいる。少人数の学校のメリットを生かし、生徒達の行動や発言に気を配ってもらいたい。 ○いじめも無く、全員が仲良く学校生活が出来ている。今後も積極的行動が出来るよう、個々に接してフレンドリーに接して下さい！
(2) 【確かな学力】の育成 ～学ぶ意欲、思考力を育てる授業づくりを推進する～ 【成果】 - 授業にまじめに取り組んでいる。 【課題】 - 授業改善のため工夫したり質問しやすい授業を心がけているが、質問しにくいと感じている生徒がいる。 【改善の方策】 - 習熟度に合わせた少人数授業を実施し、自分の学びを追求できる環境をつくる。 - 授業は分かりやすいと感じている生徒が多い。また、生徒同士の学び合いを重視しているため、全体への呼びかけでなく、机間巡視で個別に声を掛けていく。	◎	◎	○少人数授業による強味を更に深め、「生徒同士の学び合い」の機会を他校とのオンライン学習といった手段も取り入れて進化出来ればと願う。 ○□静かに授業が進められていること＝「生徒が授業を理解していること」とは限らない。確実に学力がついているかの評価も日常的に行って頂きたい。 ○質問が出来るというのは、「わからない所がわかっている」「質問が出来る雰囲気が出来ている」ということであるが、中には積極的な姿勢が示せない場合もある。一人ひとりの状況を把握し易い現状と思われるので、各々にきめ細やかな対応をお願いしたい。 ○「朝読書」「100マス計算」といった習慣的な行為も見直すこともいかがであらうか。 ○生徒は一人一人違う考え方、思い、悩みがあり、個別に対応していくことが重要である。少人数学校のメリットを生かして解決して下さい。 ○学力に応じてグループ分けして授業する。 ○得意な子が苦手な子に教える。 ○分からないときに質問していない生徒が数名いたが、理解できていない生徒はどう質問すればいいかや質問する事が恥ずかしいといった生徒もいると思います。質問し易い環境や雰囲気を作ってあげて下さい。 ○生徒の発言を大切に生徒間での話し合いがされていて良い。人の話を聞く、自分の意見が言える習慣づくりは大事な。 ○質問しにくいのが先生の性質なのか、生徒の理解度によるものなのか、確認が必要だと感じます。

<有年中>学校評価(自己評価・関係者評価)

評 価 項 目						A	B	C	D	分析と改善の方策		自己評価 は適切か	改善方策 は適切か	課題と来年度の具体的改善方法	
11	振り返りの機会を計画的に行っている。	6	3	3	0		50%	25%	25%	0%	◎	○	◎	○	○読書タイムのように、ラジオ体操タイム、なわとびタイムetc・・・毎日の中に運動タイムがあるといいですね。 ○体を動かすことは考えている以上に大切なことであることを学校生活の中で啓発して頂きたい ○自転車通学が大半で、家庭での移動も車という環境であると思われるので、学校での休み時間に「業間マラソン」「ラジオ体操」といった取組も御検討頂ければと思う（「古い」と指摘されるかもしれないが、意外に効果がある場合も）。 ○部活動の地域移行に伴う影響を十分考慮し、学習活動の中での運動の位置づけを明確化したい。 ○パソコン・スマホの操作による疲労回復のための運動のプログラムという面も「考えて頂きたい」。 ○＜提案＞朝一番、おはようの挨拶の後に体を目覚めさせる為にも、授業の前にラジオ体操を毎日行い、それから授業に入るようにすれば良いと思う。たった5～6分で気分が変わり、体も整う。 ○部活動を通じて養われてきた協調性、礼儀、団結力が部活動の地域移行によって経験が減ってしまわないか心配です。 ○先生方の負担を考えると部活動の地域移行も仕方が無いと思う反面、これからの生徒は運動しなくなり、益々体力が低下すると思います。部活動ほど激しい運動は無理ですが、体を動かす機会を作ってあげて下さい。 ○②③での部活動での連帯感、体を動かす等がB評価は理解できない。部活の体制を大きく変化しようとしています。努して勝利等達成感を強く知って欲しい。 ○地域にスポーツが移行しているが、地域でのスポーツができない状態である。今のままだと運動が苦手な生徒が増えてしまうと思います。 ○【改善の方策】→部活動でなくても、放課後に運動、トレーニング、体操できる仕組みとかできないでしょうか。（先生の負担にならない様に）
		50%	25%	25%	0%										
12	運動の大切さを理解させ、体を動かすように工夫している。	1	5	4	1		9%	45%	36%	9%					
		9%	45%	36%	9%										
13	部活動で、連帯感、成功感を味わせ、興味を持たしている。	3	7	0	1		27%	64%	0%	9%					
		27%	64%	0%	9%										
14	部活動では「技」だけでなく、心の成長を大切にする指導を行っている。	6	4	0	1		55%	36%	0%	9%					
		55%	36%	0%	9%										
15	生徒は毎日喜んで登校している。	4	8	0	0		33%	67%	0%	0%					
		33%	67%	0%	0%										
16	楽しいクラスづくりに取り組んでいる。	3	8	0	0		27%	73%	0%	0%					
		27%	73%	0%	0%										
17	友の大切さ、ありがたさ等をよく話している。	3	7	3	0		23%	54%	23%	0%					
		23%	54%	23%	0%										
18	努力することの大切さを指導している。	5	7	1	0		38%	54%	8%	0%					
		38%	54%	8%	0%										
19	間違った行動に対して、わかりやすく指導している。	5	8	0	0		38%	62%	0%	0%					
		38%	62%	0%	0%										
20	学校行事や生徒会活動等での体験活動を多く経験させ、豊かな心を醸成している。	6	6	0	0		50%	50%	0%	0%					
		50%	50%	0%	0%										
21	生徒にはわかりやすく、ていねいな言葉で接している。	3	9	1	0		23%	69%	8%	0%					
		23%	69%	8%	0%										
22	自他や家族を大切にし、楽しく生きることを指導している。	3	9	1	0		23%	69%	8%	0%					
		23%	69%	8%	0%										
23	習慣の意味や重要性について、生徒に啓発している。	3	9	0	1		23%	69%	0%	8%					
		23%	69%	0%	8%										
											（3）【すこやかな体（心身）】を培う				
											【成果】				
											・部活動を熱心に指導しており、生徒もおおむね積極的に参加している。				
											【課題】				
											・全校生徒の約4分の1は運動に苦手意識がある。				
											・体育の授業等で身体を動かすとよくけがをする。				
											【改善の方策】				
											・部活動の地域移項が進めば学校での運動の機会が減るため、昼休みを有効に使い、生徒会主催の全校遊び、球技大会等、楽しく身体を動かせる機会を設ける。				
											・運動の大切さを理解させ、身体を動かす工夫をしていくとともに、準備運動をより丁寧に行うよう指導する。				
											（4）【自主自律の精神】の育成				
											～真心を持ち物事に誠実に取り組む、主体的な生徒を育成する～				
											【成果】				
											・生徒は正しいことを行い、自ら行動することを意識して生活を送っている。				
											・清掃活動や駐輪等、周りのことを考え行動できている。				
											【課題】				
											・保護者は、教師が進路についてあまり話をしていないと感じている。				
											【改善の方策】				
											・自分自身の将来を考える時間や進路学習の時間を設けるとともに、詳しい情報の発信に心がける。				
											（5）特別支援教育の充実				
											【成果】				
											・安心して学校生活が送れている生徒が多い。				
											・特別支援教育についての研修を深め、個々の特性に寄り添った指導を心がけている。				
											【課題】				
											・普通学級に在籍する支援が必要な生徒に応じた支援・課題を与える必要がある。				
											【改善の方策】				
											・生徒一人一人の特性について理解を深める。				
											・継続的に特別支援についての研修を行い、生徒の特性に応じた対応ができるようにする。				
											・生徒に応じた学習や課題の出し方を工夫していく。				
											◎				
											○				
											○日常的な取り組みを誠意をもって行い、続けることの大切さ、素晴らしさを実感出来る雰囲気づくりを今後も継続して欲しい。 ○中学生という時期は、まだまだ今後の進路、将来像へのイメージを抱くことが難しいが、その不安も含めて教師や保護者がサポート出来る状況を確立したい。 ○学区の拡大、高校の再編等、親世代の経験では対処出来ないのが現状である。新たな情報、進路選択の方法等提供し、疑問点についてはすみやかに対応出来る体制づくりが望まれる。 ○ノーチャイム精神、正々堂精神は人として大切なことなので、これからも引きついでいただきたいです。 ○進路についてトライやる等の就業体験だけでなく、有年地区で活躍されている方々や様々な業種の体験や話を聞く機会を増やし、自分達の将来をイメージさせてあげて下さい。 ○人生において中学校生活は生活習慣等、基礎を学ぶ最も大切な時期です。一生の友達が出来るのもこの時期です。仲間と共に喜び悲しむ事を色々と体験して下さい。 ○昔からですが、地域的に高校からより広い世界に出る事になります。1年生の時から考える様にしていく必要があると思います。 ○【進路についてあまり話をしていない】→家庭でする事？保護者とのコミュニケーション？課題がポイントを絞れていないのでは。				
											◎				
											○				
											○「かけがえのない自分」、誰もが安心して日々の生活を送ることが出来る権利を有していることを普段の生活の中で実践、実感出来ることが大切である。 ○個々の特性を配慮し、学力を含め将来を生きぬく力を中学生の段階で出来得る限り保障出来るよう願います。そのために個人、保護者の努力に加えて、周囲のサポート、見守りが大切であると思います。 ○ひとりひとりの個性に応じた対応が必要。生徒も親も安心して学校に通える環境づくりをして頂きたいです。 ○支援や配慮が必要な生徒に対し、どのような支援をされているのかが分かりにくいです。 ○人権意識を大切に一人一人の生徒の気持ちに寄り添い指導している。				

NO	評 価 項 目	A	B	C	D
24	地域の行事やPTA活動に積極的に参加し、保護者地域との関係作りを心がけている。	4	6	1	1
		33%	50%	8%	8%
25	自分からあいさつすることを心がけている。	10	3	0	0
		77%	23%	0%	0%
26	社会規範を育てるように指導している。(正々堂精神)	6	6	0	1
		46%	46%	0%	8%
27	主体的に行動できる生徒の育成を考えた指導をしている。	4	8	1	0
		31%	62%	8%	0%
28	自他の考えを認め、尊重する学校づくりに努めている。	4	7	1	0
		33%	58%	8%	0%
29	清掃指導、環境整備をよくしている。	4	8	0	1
		31%	62%	0%	8%
30	自転車を整然と駐輪ができてい る。(徒歩通学は除く)	9	3	0	0
		75%	25%	0%	0%



分析と改善の方策
（6）魅力ある学校づくり、地域に信頼される学校づくりを進める 【成果】 ・地域の方に気持ちの良いあいさつをすることができる。 ・正々堂々正しいことを行うことができる。 【課題】 ・学校の様子等、家族と話すが少ない生徒がいる。 ・地域の活動や行事等に参加できていない生徒がいる。 【改善の方策】 ・オープンスクールを増やし、地域の方や保護者に学校の様子を見ていただくとともに、情報発信をしていく。 ・有年地区懇談会の成果を踏まえ、地域に貢献できる生徒の育成とともに、教師も積極的に地域行事に参加する。

（7）全体を通して
【成果】 ・学校の伝統である「正々堂精神」「ノーチャイム精神」を意識して生活できている。 【課題】 ・おおむね良好な評価が多いが、学校・学級が楽しいと感じていない生徒がいる。 ・子供は自主的に行動できていないと感じている保護者がいる。 【改善の方策】 ・自主性を育てるために、支援が必要なときに支援できるよう準備しながら、生徒の学びを見守り助言を与え、主体的に学びを深められるよう体制を作る。 ・経験や活動する場面を増やし、多くの人と関わり、様々な経験を通して自信や自分の気持ちを育てる。自主的に取り組む姿勢につなげる。

◎適切である ○ほぼ適切である △あまり適切でない ×適切でない

自己評価は適切か	改善方は適切か	課題と来年度の具体的改善方法
◎	◎	○挨拶は習慣化し、中学生を見守ろうという気風は定着している。 ○「正々堂精神」の継続。地区（学校のみならず）の伝統として今後も取り組んで欲しい。 ○有年地区の歴史を学ぶ機会を地域団体と連携するなどして持って頂きたい。 ○地域の先輩の講演会等、学校単独で難しいようであれば各種団体と共催して参加出来るような機会を持ちたい。 ○「学校の様子等、家族と話すが少ない生徒がいる」→家庭での問題である。この年代ではあたり前と思います。 ○「地域の活動や行事等に参加できていない生徒がいる」→地域の活動が少なく機会がないので、アンケートはしかたがない。 ○有年中の生徒はあいさつが良くできていますので、こちらも気持ち良くなります。あいさつをすることで、した方もされた方も気持ち良くなるのが自然に身についているように思います。 ○自分の事だけではなく周囲にも気配りができており、有年の子供達の優しさを感じます。 ○保護者が参加し易いオープンスクールの計画をお願いします。保護者も学校の取組や子供達の学校での様子に興味を持ち、子供と共通の話題があれば自宅での会話も増えると思います。 ○地域の行事等に積極的に参加し、地域の人達との出合を大切に。特に大きな挨拶の励行は地域を明るくしてくれ頼もしい。 ○「改善の方策」→地域からの評価は高いと思うので、もっと市内全域にアピールすれば良いのでは。

◎	◎	○目が行き届き、きめ細かい指導が可能な環境ではあるが、固定化された人間関係の中で閉塞感をおぼえる状況も否定出来ない。 失敗や挫折を恐れず、転んでも立ち上がれる強さが持てるように、周囲の見守りが求められる。親世代、祖父母世代が経験していない機器に囲まれ、情報過多の苛酷な状況の中、中学生が生活しているという現実を踏まえつつも、友人、家族、地域の人々との関わりの大切さ、かけがえのなさを実感出来る体験を持てることを願う。 ○先生と生徒が1対1で話ができる場を持つ機会を設ける。学期毎か気が付いた時に悩みがないか等を話し合う場を設けることが必要と思う。 ○全体的に生徒達からは楽しく中学生活が送れている事が分かりました。生徒達が楽しくのびのびと中学生活が送れるよう、御指導宜しくをお願いします。 ○自主性を思うあまり、生徒との信頼関係の構築が出来ているのか心配ですが、結果、生徒達が自主的に行動が出来ているのであれば喜ばしいです。 ○昔から伝統が続いており、うれしく思います。 ○自主的に考える様に育てていく必要がある。
---	---	---

自己評価における特記事項

・コミュニケーションはもっと必要。担任中心により生徒に関わる体制づくりを構築していく。 ・行事は「ただ楽しければOK」ではなく、学校教育なので目的を持った活動を考える必要がある。 ・教師は学校としての取組を理解しないまま活動している場合が多い。各行事の準備段階で、周囲と情報共有をしながら進めることが大切である。 ・小学校から縦割り行事等を行っているように、自分のできないところを認め、できるところを伸ばすには教科指導だけでなく、行事や体験活動は必要。地域からの要望で突発的な行事も入るが、子供たちの将来を見据え、どんな大人になってほしいか、そのためにどんな行事や活動が必要か、その活動を通して何を学ばせるのかなど、意図して行事を計画する必要がある。 ・穏やかな学校だと思います。多少のアクシデントはあったとしても、平和な中学校ですね。 ・私は美術なので、将来に役立つ「もの作り」を好きになっておらうことを一番に考えて指導しています。
--

評価項目以外の来年度の課題や具体的改善方法
○＜感想＞生徒アンケート№5・15・16・18・20・26の項目を見ると、有年中学校としての学校目標が達成していると思います。先生方の努力だと思います。 ○「少人数」＝「目が行き届く」、「田舎」＝「素朴で穏やか」という先入観にとらわれず、日々の生活を検証する姿勢を持ち続けたい。 ○中学校3年間で目に見える成果が上がることもあれば、そうでないこともある。後者の方が多いのが現実である。将来につながる貴重な時間を大切に「明るく、やさしく、誠実さをもって」努力し続ける子ども達の成長にかかわるという気持ちで今後も取り組んで頂きたい。 ○地域の活動で、学校の横の千種川でカヌー体験等の計画があります。なかなか体験出来ませんので、是非参加してはどうでしょうか？地域の人達とのコミュニケーションの一層を図り、中学校生活の楽しい思い出となると思う。 ○地域特性を活かしながらの教育活動であり、他の学校と違う指導になり大変かと思いますが、よろしくお願いします。